

<Vol.77の記事>

2007年度の総会を開催しました

【2007年度年次総会終了】

去る6月10日(日)15時~16時半、クラブハウス内セミナールームにおいて年次総会を行いました。正会員36名のうち、21名が出席(このほか委任状が13名)されました。

総会後には、総勢30名ほどの参加者で、懇親会が楽しくにぎやかに開催されました。

今回参加されなかった皆様、今後も交流の機会を設けていきますので、次回はぜひご参加ください。

【新体制・役員が決まりました】

今年度は役員の変更(2年ごとに改選されます)がありました。現在の活動の柱であるサッカー、テニス、フィットネスの分野ごとに理事を副数名選出し、理事は分野ごとに会員や指導者とともに運営会議を設立して、活動を展開していくこととしました。

新体制とそれぞれの担当は以下のとおりです(再:再任、新:新任)。

【理事】

| | | |
|----------|--------|-----------|
| 再 倉持守三郎 | 理事長 | 全体統括 |
| 再 戸苅晴彦 | 副理事長 | 科学技術 |
| 再 塩野潔 | 副理事長 | 医事・渉外 |
| 再 小野崎研郎 | 副理事長 | 総務、サッカー普及 |
| 再 金子文明 | サッカー生涯 | |
| 再 池森俊文 | サッカー育成 | |
| 新 大橋正樹 | サッカー生涯 | |
| 新 佐藤勝利 | サッカー生涯 | |
| 再 清水恵二 | サッカー普及 | |
| 再 伊澤浩助 | サッカー育成 | |
| 再 萩原紀男 | テニス | |
| 新 三浦郁哉 | テニス | |
| 再 山田結美 | フィットネス | |
| 新 千装聡美 | フィットネス | |
| 新 中曽根佐和子 | フィットネス | |

【監事】

| |
|--------|
| 再 三戸一嘉 |
| 再 宮原正弘 |

【2006年度事業報告】

全体

活動現場と事務局をつなぐとともに、広場などの子ども向けのプログラムの管理を充実するために、クラブとして初の常駐職員を雇用しました。

10月に新事務所に移転、11月にスタジオをオープンしました。自由に使える場ができたことは、今後の活動展開にむけて大きな一歩であると言えます。

さらに、12月から、埼玉工業さんから北浦和西口

のフラット常盤セミナールームをお借りすることとなったことも、大きなできごとでした。今後、地域の子ども達や高齢者の方々が利用できる体制を整えていきたいと思えます。

このように施設が充実する一方で、サッカーや、子ども向けのキッズコーディネーション、高齢者向けの太極拳などでは新規会員が確保できず、減少傾向にあります。広報の工夫とともに、魅力あるプログラムとしていく工夫が必要です。

06年度末で会員数は約1,200名となりました。複数のプログラムに参加する子もおり、多種目展開の意義が感じられるようになってきました。

クラブをとおした会員相互の交流と、クラブハウスのさらなる活用はこれからの課題といえます。

サッカー普及(主にサッカー広場)

- ✓ 「はだしの日」などの、新しい試みを行なった。
- ✓ 高学年にとっては、物足りなさが出てきている。

サッカー育成(ユース~選手)

- ✓ 柴田監督をお迎えし、教え子の藤大藤コーチとの常時2名体制をとることとなった。
- ✓ このほか、金子コーチ、アルディージャで活躍された佐藤コーチも定期的に指導参加。
- ✓ U-15は少人数だが、確実なレベルアップが図られてきた。
- ✓ 審判や大会運営の補助など、ユースチームをサポートする体制が構築できなかった。
- ✓ 選手チームは新年度にむけて、人数不足でリーグ戦参加が困難になり、生涯の若手の移籍により対応。

サッカー振興:主に生涯コース

- ✓ 生涯の若手がはげやきリーグに参加していますが、2連覇を果たした。
- ✓ シニアチームは、大宮シニアリーグに参加。人数不足を生じることもあった。
- ✓ 新入会員が少なく、人数が減少している。
- ✓ スーパーシニアは、23名が参加している。

キッズテニス

- ✓ 中尾小でもキッズテニスが始まった。
- ✓ 新年度から、天沼テニスコートで屋外のジュニアテニスを開始することになった。

一般テニス

- ✓ 交流センターの初・中級者テニスでは、会場抽選会対応を、会員にさせていただくことになった。
- ✓ 初心者テニスを開始した。

ヨガ・エクササイズ

- ✓ 領家スタジオで10クラス、フラット常盤で6クラスを開催している。

- ✓ 領家スタジオでは、託児も始めたが、増枠を望む声が多く、託児ボランティアの確保が課題。
- ✓ 近隣のクラブ等にも派遣しており、上尾、見沼などで普及に努めている。

キンダーコーディネーション

- ✓ 対象学年の変わり目で人数が減少した。
- ✓ 参加している子ども達には良い効果が出ているようである
- ✓ 新4年生から、継続を望む声が強く、スポーツ探検広場として月2回実施することとした。
- ✓ 体操広場と名を改めることとしました。

太極拳

- ✓ 会員数が増えていない
- ✓ クラブハウススタジオ(3F)での開催が難しく、公民館で開催していることから、南箇公民館、北浦和公民館と場所がかわってしまうことや、月3回程度の確保しかできないことが課題。

魅力アップ事業

- ✓ キンボール交流会を3回ほど開催し、定期プログラムの枠を超えた交流の場を提供。

浦和スポーツ塾

- ✓ 木崎消防署の協力により救急救命講習会を開催し、主にAEDの使い方と人口呼吸などついて講習を受けた。約20名が参加。

クラブ視察の受け入れ

- ✓ 北海道日高市、北海道帯広市、石川県金沢市のクラブ設立準備委員会が視察来訪

地域交流・拠点確保

- ✓ 埼玉県施策「地域を元気にするふぁいぶるクラブ支援モデル事業」の適用を受け、当クラブと浦和高校、県教育委員会の協議が始まった。
- ✓ 浦和高校を利用した地域住民に貢献するプログラムの実施にむけて準備を進めている。

県等との協働

- ✓ 埼玉県広域スポーツセンターが開催した地域クラブフェスタ(10/9)の実施にむけて企画、運営を全面的に支援した。
- ✓ 中古テニスボールの回収と学校への寄贈を行なった。テニスボールは1万個以上を回収し、さいたま市内の小中学校等の図書館や教室の机や椅子の足に取り付けが進んでいる。
- ✓ 1億2千万人の全国体力づくりフェスタ(文部科学省、(財)健康・体力づくり事業財団主催)の運営に協力参加。「JFAめざせクラッキ」に用具提供とサッカー広場コーチ8名が指導参加、フィットネスプログラムの補助としてヨガ・エクササイズインストラクターが4名が参加した。

【2006年度決算】

昨年度の収支は、以下のとおりで約42万円のプラスとなりました。事務所とクラブハウスの移転、整備に約700万円を要しましたが、これは昨年度までの繰越金でまかないました。

(収入)

| | |
|----------|----------|
| NPO正会員会費 | 310,000円 |
| 賛助会員 | 470,000円 |

| | | |
|-------|--------|-------------|
| クラブ会費 | サッカー | 19,076,300円 |
| | テニス | 4,464,800円 |
| | フィットネス | 8,830,100円 |
| その他 | | 227,685円 |
| 収入合計 | | 33,378,885円 |

(支出)

| | | |
|---------------|--------|-------------|
| 事業費 | サッカー | 14,707,126円 |
| | テニス | 3,522,246円 |
| | フィットネス | 5,250,549円 |
| | その他 | 85,120円 |
| 管理費(人件費、賃貸料他) | | 9,385,778円 |
| 支出合計 | | 32,950,819円 |
| 今年度収支 | | 428,066円 |
| その他支出(事務所整備) | | 6,933,026円 |

【2007年度事業計画】

今年度の活動方針は以下のとおりです。

- 既存の活動の充実、発展を図る
- クラブ運営に参加する会員・指導者を増やす
- 地域との連携強化を図り、高齢者や子供むけのプログラムの充実を図る

これらを達成するために、特に次ぎのを行なっています。

部門の整理と会員も参加できる運営会議の設立

会員と指導者やクラブとの情報の交流頻度を高め、会員の声が活動に活かされていくようにするために運営会議をつくります。運営会議は、一般の会員の方からメンバーを募って開催していくものとします。詳しく決まりましたら、ニュース等でお知らせしていきます。

専門部会の設立

種目横断的に情報交換を行い、クラブとしての活動方針などを確認していくために、必要に応じて以下のような専門部会を開催します。

指導者部会:指導者同士が顔の見える関係をつくります。活動方針の整合もはかります。

子ども部会:子ども向けプログラムのあり方などについて検討します

シニア部会:高齢者向けのプログラムのあり方などについて検討します。

地域連携部会:地域住民向けの教室などについて検討します。

「キッズテニス大会 inSAITAMA」の開催

県内の地域スポーツクラブと連携し、キッズテニスのPRと、子ども達の交流とチャレンジの場づくりとして、キッズテニス大会 inSAITAMA を10月27日に駒場体育館で開催します。

高齢者向け、子供向け

県事業に基づき、浦和高校などを活用し、地域住民を対象としたプログラムを展開することを目指します。特に、子どもや親子の参加、高齢者の方々の参加が得られるようなプログラムを検討します。

本年度も、どうぞよろしくお願いたします！！

次回の「折り紙で遊ぼう!」は、7月17日(火)15時~17時(何時からでも参加できます)モビールとして飾れる『**ブランコに乗った小鳥**』をつくります。